

# 研修

令和5年11月27日(月)  
場所 呉市役所

講 話 総括事務長・事務長に期待すること

講 師 広島県西部教育事務所 総務課長 新田 政晃 様

研修内容 1 広い視野に基づく学校経営への参画

・必要となる教育的素養

2 人材育成

(1)事務センターの事務職員

(2)所属校の教職員

3 安全で安心な職場づくりに向けて  
(特に心理的安全性の担保)

(1)事務センターの事務職員

(2)所属校の教職員

4 コンプライアンスの徹底

5 事前にいただいた質問について

☆ 人材育成・業務改善・関連校との連携・事務センター経営についての  
総括事務長・事務長からの質問一つ一つに、丁寧にご助言いただきました。



研修風景



総括事務長及び事務長のアンケートから(抜粋)

・事務職員の学校経営参画について、どのように考えて進めていけばよいか、自分の中で考えを整理することができました。国・県・呉市の教育に関する動向をしっかりとつかみ、教育的素養を高めしていくこと、そして、「参画」とは「提案」であるということを知り、私たち学校事務職員の専門性を生かした提案を学校の中で行える準備ができるとよいと思いました。まずは、レベル②③を積み重ね、レベル⑤を目指すという方向性で取り組んでいきたいと思いました。教育的素養を持ったリソースマネージャーを目指して、事務センターで情報交換を行いながら取り組んでいきたいと思っています。

・人材育成について年齢分布表とともに説明していただき、人材育成が喫緊の課題であることを再認識しました。若い事務職員と接していると価値観との違いに戸惑いを感じることもありますが、違いだけに捕らわれず、基本的な資質、学校という職場の使命に立ち返り、目指すべき姿を確認して人材育成を行う必要があると感じました。

・各々の職における立ち位置について、大変勉強になりました。「事務長」としての各方面に向けての対応について、更なる正確な「情報」「知識」を得る努力が必要なることを感じました。併せて、管理者として、どの分野(人材育成・コミュカ・法令規範など)においても、所属職員よりも一回り常に意識を高く持つことを当たり前になれるように努力したいと思っています。